

福島県立視覚支援学校・福島県立聴覚支援学校福島校

【発行所】

福島県立視覚支援学校・
福島県立聴覚支援学校福島校
後援会

〒960-8002 福島市森合町6番34号

TEL 024-534-2574

FAX 024-533-2470

E-mail fukushima-sb@fcs.ed.jp

後援会会報

第15号

「あたたかい優しい ご理解ご支援に感謝して」



福島県立視覚支援学校・聴覚支援学校福島校 後援会長 西山 尚利

会員の皆様には本会の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、今年度も新型コロナウイルス感染症が収まらず不自由な生活が続きましたが、先生方のご尽力のおかげ様で、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校で学ぶ幼児・児童・生徒が自分の目標に向かい学習・体育活動に励み、生活全般にわたり充実した時間を過ごすことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

特に、フロアバレーボール競技においては4大会連続で東北大会を勝ち抜き、第6回全国盲学校フロアバレーボールやまぐち大会に出場、闘志あふれるプレーで素晴らしい試合を見せてくれました。トーナメント本戦では、優勝した大阪府立大阪南視覚支援学校に惜しくも敗れ準決勝進出は叶いませんでしたが、その後6チームで行われた交流戦では、全国の強豪校を相手に第1位に輝くなど見事な活躍ぶりでありました。フロアバレーボールを通して育んだ絆・感謝・感動は、選手はもちろん学校や生徒、関係者にも大きな喜びとなりました。新たな歴史の始まりです。これからも、様々な場面で、様々な経験を積み、何かを感じ、体得し、将来に向かって繋がって行くよう望みます。

どのような状況にあっても、子どもが学校や地域・社会で共に学び、共に生きる教育を推進するという理念のもとこれからも後援会活動を続けてまいります。引き続き、学校教育の充実発展のため、後援会活動に対しましても一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年がみなさまにとりまして平和な優しい温かい一年となりますようお祈りいたしましてご挨拶といたします。感謝

「御 礼」



福島県立視覚支援学校長・聴覚支援学校福島校分校長 郷家 俊哉

平素より後援会の皆様には、視覚支援学校及び聴覚支援学校福島校の教育活動に多大なる御支援を賜り、心より御礼申し上げます。

皆様からは、児童生徒の学校生活がより楽しく、明るく充実したものとなるために、今年度も様々な行事や進路対策、各種教材、学習環境整備等に多くの助成を賜りました。

特に、視覚支援学校では、昨年8月に山口県で開催されました全国盲学校フロアバレーボール大会の出場にあたり、多くの御支援を賜りましたことに心より御礼を申し上げます。お蔭をもちまして、交流戦において接戦を制し第1位を獲得することができました。また、福島校の運動会や遠足、視覚支援学校の芸術鑑賞会、修学旅行等への助成により、児童生徒の活動の幅を広げることができましたことに心より感謝申し上げます。

現在、感染が高止まりとなっておりますコロナ禍の影響により、集団での活動等に制限があることは否めませんが、オンラインを活用しての他校との交流及び共同学習など、児童生徒の学びの充実に向けて日々創意工夫をしながら取り組んでおります。

結びに、皆様から賜りました御支援に改めて御礼を申し上げますとともに、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。



教育活動報告



会員の皆様よりいただいた会費は、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校の教育活動の中で、有効に使わせていただいております。ここでは、多くの補助を受けて実施された教育活動の中から、学校行事での幼児、児童生徒の様子を紹介いたします。

小学部 「知らせたいな 見せたいな」～学習成果の発表～

10月29日(土)の土曜授業日に合わせ、学習成果の発表を行いました。3年総合グループは、信夫山や学校周辺にいる鳥の種類や生態について調べたこと、2、3年生活科グループは、「うごくうごくわたしのおもちゃ」の学習で作ったおもちゃについて、児童が作り方や遊び方を紹介しました。最後は全員で「じゅげむ」の歌を歌いました。自分が学んだことを自信をもって生き生きと発表する姿に、会場から大きな歓声や拍手が沸き起こっていました。(小学部主事 高橋 和代)



中学部 「校内実習・職場体験の取組から」

進路週間期間に、1年生は校内実習を、2年生は職場体験を行いました。校内実習では、高等部の校内実習を体験することで、先輩たちが取り組む姿に触れ、高等部の先生方を含めた多くの「所員」との協働を通し「仕事」への関心をもつことができました。職場体験では、「ユニクロ」、「ダイユーエイト MAX」で実施しました。将来の職業生活を考えたり、「働くために必要な態度」が今の生活にもつながっていることを実感したりと貴重な学びを得ることができました。(中学部主事 志賀美保)



高等部普通科 「学習の成果発表会」

今年度もコロナ感染防止に取り組みながら、10月29日に学習の成果発表会が開催されました。今年度は生徒の成果発表に加え、展示スペースを設けて、美術作品の展示、音楽祭などでの交流の様子や修学旅行、進路週間の学習活動の様子等を写真や動画を通して見てもらうことができました。また、生徒が店員となり作業製品の販売会も行い、大盛況となりました。(高等部普通科長 大友 洋平)



高等部理療科 「臨床体験発表会」

例年12月末に実施の臨床体験発表会が感染症の状況により延期となり、年明けの1月19日に午前の生徒発表のみとなりましたが開催することができました。今年度は生徒全員が発表対象となっており、それぞれ興味関心のあるテーマに基づき実験調査研究や症例研究などの7題と就労経験に基づく発表が1題行われました。

保理科・専攻科の2年生は筋疲労回復や五味と五臓について、保理科3年生は足裏の施術と体温との関係について、専攻科3年生は腰痛や浮腫、VDTや緊張型頭痛について、鍼や灸、温熱療法などの効果について発表しました。発表の機会を通じて自身の取り組みの振り返りと、他者の発表を通して様々な視点での気づきを改めて感じることができ、大変充実した内容となりました。また専攻科1年生による訪問マッサージの臨床経験の発表では、具体的な仕事内容や課題を知ることができ、卒業後の進路を具体的に考える上で、大変参考となるものでした。

午後の実技講習会は、残念ながら実施できませんでしたが、講師の筑波技術大学准教授の近藤 宏先生にはご多用のところ日程を調整いただき、オンラインで生徒の発表を視聴いただき、最後に生徒一人一人に対して、専門的な視点で講評をいただくことができました。今後も生徒の様々な取り組みのまとめとなるこの発表会を、実施方法を様々な工夫しながら充実したものにしていきたいと思えます。(高等部理療科長 小池 佳郎)



聴覚支援学校福島校 幼稚部「秋の遠足」・小学部「合同学習発表会」

幼稚部は10月21日(金)に秋の遠足を実施しました。果樹園でブドウ狩りを体験し、十六沼公園では友達や家族の方々とたくさん遊び、終始笑顔がいっぱい大満足の1日でした。

小学部は、10月22日(土)に福島第四小学校において、合同学習発表会を実施しました。「みんなで力を合わせて、笑顔で発表しよう」をスローガンに、4つの詩を手話で朗読し、最後に全員で「私と小鳥と鈴と」を、手話で歌いました。皆さんから大きな拍手をいただきました。

(聴覚支援学校福島校 教頭 江田 貴洋)



「健闘！全国フロアバレーボール大会やまぐち大会」 ～全国大会出場の報告と御礼～

球技部生徒10名は東北地区代表として、3年ぶりに行われたフロアバレーボール全国大会（8月24～26日・維新大晃アリーナ）に参加しました。本戦では、優勝校の大阪南視覚支援学校にあと一歩及ばず入賞は逃しましたが、「選手同士が声を掛けあう良いチーム」との賞賛をもらいました。その後、敗退校交流戦トーナメントの3試合を全勝し、事実上全国5位と大健闘しました。後援会の皆様から多大なる御支援をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。（視覚支援学校 教頭 逸見 大介）



令和4年度

会費等のご協力をいただいた方々及び団体等（敬称略）

今年度も、在籍している幼児児童生徒の保護者の皆様にご協力をいただきました。ここには、ご協力いただいた旧職員の皆様及び特別会員・関係団体の皆様のみ記載させていただきますので、ご了承ください。（個人については五十音順に記載）

たくさんのご支援・ご寄付ありがとうございます。

伊達市保原町工業団地懇話会
守工業株式会社
株式会社三宅新聞店
社会福祉法人あおぞら福祉会 菊の里
有限会社大野建築設計事務所
株式会社トヨネスト
株式会社 テリーナテリーナ
福島テレビ株式会社

藍原 裕子 加藤 隆正
阿部 教夫 金子 久雄
荒牧 美穂 菅野 孝一
安藤 俊典 菅野 典子
五十嵐登美 木田 浩
石川 浩 櫛田 省吾
海野 薫 熊谷トモ子
江口 和子 栗村 美智子
大谷 典子 國分 静香
小野祥一郎 古関 綾子
小野 誠子 小檜山 宗浩
小野 貴則 小山 久美

齋藤 和也
齋藤 洋之
齋藤 浩之
佐久間 理江
佐瀬 由紀子
佐藤 健一
佐藤 浩士
佐藤 正雄
嶋原 弥
尖戸 英樹
篠木 まち子
篠田 路子
庄子 紀子
杉山 裕恵
鈴木健一郎
須田 博行
須田 康仁
平 祥江
高橋 里子
高橋 富士子

田嶋まゆみ
丹野 功一
千代 則子
千代 行雄
中村 雅彦
七宮 弘暁
二瓶 睦
二瓶 恵美子
野内 容子
芳賀 孝美
橋本 淳一
原田 道久
宝槻 千賀子
宝槻 久和
武藤 永治
村上 卓
望木 昌彦
柳内 泰二
藪内 敬子
渡部 経子
渡邊 葉子

各市町村
福島市
郡山市
いわき市
白河市
相馬市
二本松市
南相馬市
伊達市
本宮市
大玉村
西郷村
鮫川村
浪江町

編集後記



日頃より本後援会にご理解とご支援をいただき、感謝しております。本紙面を通して幼児児童生徒の様子と本会の事業内容についてご理解いただければ幸いです。これからも本会活動充実に向けて努力して参りますので、今後ともご支援をよろしく願いいたします。